

西大池

急傾斜地崩壊防止工事後、安全対策を講じました。



鈴蘭台  
東町

歩行者専用道路を車道に変更しました。



星和台

3丁目の住宅地に30km/hの速度制限の標識を設置しました。



京地

通学路である横断歩道を舗装し安全対策をしました。



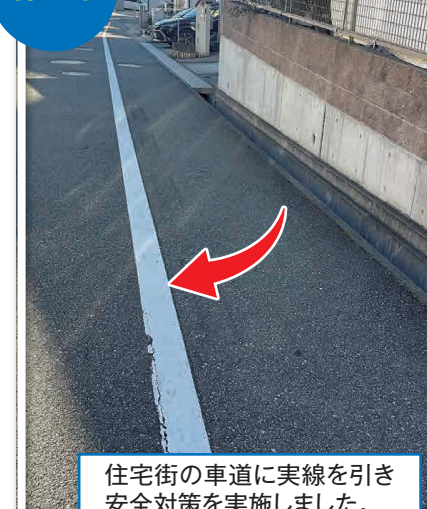
長尾町  
宅原

川沿いの県道に街灯を設置しました。



緑町

住宅街の車道に実線を引き安全対策を実施しました。



大脇台

歩道橋の階段の段差解消(左)と長い階段の段差解消と手すりを設置(右)しました。



おおつか公彦 県政レポート

経歴

- 昭和53年6月24日 灘区生まれ
- 平成14年神戸大学経営学部卒業、同年4月サントリー株式会社入社。本社財務部勤務
- 衆議院議員 赤羽一嘉事務所勤務などを経て、令和5年4月に兵庫県議会議員選挙に初当選



令和6年12月 第369回定例県議会 一般質問で政策提言を行う!

令和6年12月の兵庫県議会一般質問を行いました。神戸市北区の皆様をはじめ、多くの県民の皆様と対話し、県民相談を承る中、特に大切だと考えた7項目を質問しました。すべての質問に対して、知事や当局から前向きな答弁があり、兵庫県政を大きく前進させることができました。

県民の命を守る災害時の情報連携と防災アプリの改善について

質問:おおつか(主旨)

阪神・淡路大震災から30年の節目だ。今後、南海トラフ地震などに万全の備えをしなければならない。県民の安全と安心に寄与するためには、「ひょうご防災ネット(スマホアプリ版)」のさらなる充実が不可欠だ。オフライン機能の追加やビジュアル面での改良が必要などの改善が必要だが、その所見を伺う。

答弁:県危機管理部長(主旨)

令和元年に運用開始した同アプリはダウンロード数40万件。県と全市町が参画し、避難情報を中心に県民へ防災情報を提供している。今後、さらなる普及促進に加え、「オフライン機能の導入」や「備蓄チェックリスト」などの追加機能を検討する。また、デザイン改良や他自治体の事例を参考にした改善を進め、災害時に必要な情報をより充実させていく方針だ。

「温泉ツーリズム」を軸としたインバウンド誘客について

質問:おおつか(主旨)

兵庫県は有馬温泉など豊かな温泉資源を持つが、訪日外国人の訪問率や宿泊日数は低い。大阪・関西万博や神戸空港の国際化を機に、温泉地の体験型観光と地域資源を組み合わせ、滞在期間延長と経済効果向上への県の取り組みを問う。

答弁:知事(主旨)

有馬温泉を含む温泉地はインバウンド誘客の柱だ。現在、インターネットで宿泊予約できるサイトで温泉地を世界に広く発信中だ。神戸空港の国際化を機に温泉宿泊を充実させ、兵庫観光の活性化を図っていきたい。



詳しい内容は  
議会ホームページを  
ご覧ください。



中面へ続く→

持続可能な農林水産業で輝く未来へ  
令和6年度 農政環境常任委員会で最多の質疑と政策提言を実施

おおつか公彦は令和6年度、農政環境常任委員会に所属。兵庫県の農林水産振興、地球温暖化対策、生物多様性の保全など多岐にわたる課題に対して、政策提言や当局との質疑を重ねてきました。神戸市北区では、六甲山に囲まれた独特の気候条件下で、小規模農家が多いことや、後継者不足などの課題を抱えています。私は兵庫県議会議員として、神戸市北区をはじめとした兵庫県の農林水産業の持続可能な発展を実現すべく、地域資源の有効活用と環境保全の両立を目指した具体的な施策を推進してまいります。神戸市北区の皆様を大切に、県全体の農業再生と地域社会の安心・豊かな未来の実現に向け、引き続き全力で改革に取り組む決意です。



令和6年 北区いちご狩り開園式

【令和6年度の主な調査テーマ】

- 「農業生産基盤及び農村環境の整備・保全について」
- 「農業の担い手育成、農地有効活用及び水田農業の推進」
- 「農業改良普及事業及び環境と調和した農業の推進について」
- 「農林水産物の安定供給及びブランド力強化について」
- 「農協指導、農業金融、農業保険及び農協検査について」 など



農政環境常任委員会の  
質疑動画はこちらから

生産性向上を目指した  
スマート農業技術の活用促進について

## 質問: おおつか

神戸市北区では、酒米「山田錦」や野菜、果樹栽培が盛んな一方、担い手不足や高齢化、鳥獣被害が深刻化している。ドローンやAI技術を活用したスマート農業は、負担軽減と生産性向上に大きな期待がある。「農業の生産性向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律」の施行を踏まえ、地域特性に応じたスマート農業導入支援について県の方針を問う。

## 答弁: 知事

農業者の減少や高齢化への対応として、県は技術実証や補助事業を通じてスマート農業の導入を支援し、土地利用型農業を8,643ha、施設園芸を28.1haまで拡大している。低コスト導入や人材育成、環境整備が課題であり、新法の補助制度も活用し、生産性向上と持続可能な農業を推進する。

県立高校の発展的統合に伴う  
新たな課題への対応について

## 質問: おおつか

神戸北高校と神戸甲北高校の統合に伴い、新設校への期待が高まる一方、神戸北高校の2・3年生への配慮が重要だ。部活動や行事への影響、地域や卒業生とのつながりの継続が求められる中、人的・財政的支援の強化ときめ細かな対応について県の方針を問う。

## 答弁: 教育長

新設校の周知は進んでおり、神戸北高校では『里山づくり』や合同部活動、卒業生向け行事などの配慮を行っている。準備委員会で連携を図り、予算拡充や教職員配置の充実に取り組み、地域や関係者と協力し統合と学校生活の充実を進める。

質問  
その他の

- 急性期医療におけるリハビリテーションの推進と拡充について
- バラスポーツ振興を支える施設整備と支援体制の強化について
- 身体障害者補助犬貸付要綱の見直しについて

## 中央省庁へ政策要望! 中野 国土交通大臣らに地域課題の解決を要望!

令和6年11月、公明党兵庫県議団は、国政要望活動を実施。中野洋昌国土交通大臣をはじめ、各省庁と積極的に意見交換を行いました。中野国交大臣との懇談では、地域交通の維持と改善について議論。人口減少でローカル線やバス路線の維持が困難な中、公共ライドシェアやデマンド型バス導入などについて意見交換しました。また、低賃金問題と労働者流出防止についても支援を要請しました。坂井内閣府特命担当大臣(防災担当)とは、防災力向上策としてドローン活用や避難計画のデジタル化を議論し、震災財政負担の課題も共有しました。

防災庁設置準備室では、兵庫への防災庁拠点設置を提案。先進的防災対策を全国に展開する重要性が確認されました。鰐淵厚生労働副大臣とは、高齢者支援や医療体制強化について議論。補聴器支援や医師の働き方改革、地方医師不足への対策を議論しました。

地域の声を国政に届け、兵庫の発展と安心・安全な社会づくりを力強く推進していきます!

県内で99%以上のペットボトルを再生!  
おおつか公彦が推進する「ボトルtoボトル」で資源循環の輪を拡大へ

兵庫県では、プラスチックごみ削減と資源循環を目指し、使用済みペットボトルを再利用する「ボトルtoボトル」の取り組みを進めています。

本年、姫路市内で世界最大のペットボトルリサイクル工場が稼働。県内の市町が回収し、リサイクルされたペットボトルの99%以上(※)が、この工場でペットボトル原料として再生される仕組みが整い、県内での資源循環の輪が確立しました。

この仕組みをさらに広げるため「ひょうごPETボトルサーキュラーネットワーク」が発足。12月20日にはキックオフイベントが開催されました。「ボトルtoボトル」の推進は2050年のカーボンニュートラル達成に貢献します。今後も「水平リサイクル等の推進」を通してプラスチック資源の循環を進めます。

※今年度上半期に容器包装リサイクル協会を通じてリサイクルされたペットボトルに限る



12月イベントにて(写真左)

県民の皆様の想いを政策で実現!  
令和7年度兵庫県予算 478項目の要望と政策提言を実施

おおつか公彦、公明党兵庫県議団は地域を駆け巡り、皆さまの声をしっかりと受け止めながら、齋藤知事に対して令和7年度の予算要望と合計478項目の政策提言を実施。令和7年度予算編成に皆様のお声が多数反映されました。物価高騰対策、交通課題の解決など多岐にわたる課題解決へ、引き続き県民の皆さまの想いを具体的な政策に反映してまいります。



令和7年度当初  
予算の詳細は  
こちらから

CHECK  
1

## 特殊詐欺対策のための自動録音装置を配付します!

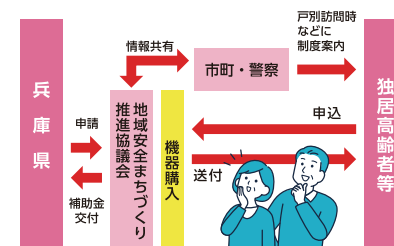
公明党議員団は増え続ける特殊詐欺対策の強化、被害にあいやすい**高齢者が安心して暮らせる対策**を強く訴えてきました。独居高齢者等の被害リスクの高い世帯に対して、外付け自動録音機の配付が実現しました。

## 実施内容

- ・警察の戸別訪問や市町等により、対策が必要な高齢者に制度を案内
- ・ひょうご地域安全まちづくり推進協議会を通じ高齢者宅へ機器を送付(3,000台)
- ・機器設置が困難な高齢者に対して設置をサポート

## お問合せ先

TEL.078-362-3225 (県民生活部くらし安全課)

CHECK  
2带状疱疹ワクチン接種費  
補助の継続が実現!

公明党議員団は、令和4年度より定例会などで带状疱疹の予防とワクチン接種の助成について要望を重ねた結果、令和6年度、**東京都に次いで2番目に助成事業を実現**することができました。全国の公明党の働きかけもあり、令和7年度は**65歳に対して国の定期接種化が決定**しました。令和7年度に限り5年以内に国の定期接種対象とならない人に補助を継続します。

## 補助率等

市町助成事業に1/2補助(上限額:2,000円)  
(例)県・市の合計補助額が4,000円の場合、  
県2,000円・市2,000円の補助

## 補助対象

接種日現在で満50歳以上、かつ、  
令和8年3月31日時点で60歳以下の方

## 補助回数

ワクチン、組換えワクチンどちらか1回限り

## 実施期間

令和7年度

市町随伴事業のため、事業実施状況等については、神戸市役所の担当課にお問い合わせください。

CHECK  
3

## 不妊治療支援がさらに充実!!

不妊治療の保険適用については公明党の長年の訴えが実り、令和4年度に保険適用が開始。公明党議員団は**先進医療費助成などのさらなる支援の充実**や**仕事の両立**を求め、隣接府県の医療機関についても対象を拡大することができました。



## 不妊治療支援

## ①保険適用外の先進医療費を助成

## 対象

県内または、隣接府県医療機関※1で先進医療を受けた者(43歳未満)

## 助成額

1クール※2あたり3万円(回数制限なし)

## ②先進医療にかかる通院交通費を助成

## 対象

本人(同行者は対象外)

## 助成額

1クールの治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内の額 **上限額/1往復当たり19,000円**※3

1. 制度拡充は令和7年4月1日以降の先進医療を対象 ※2. 1クールは、生殖補助医療開始から胚移植まで ※3. 令和6年実績の最も高額となる市町間の自家用車・公共交通機関の平均額

## お問合せ先

TEL.078-362-9230 (保健医療部健康増進課)

兵庫県不妊治療  
応援サイト



兵庫県プレコ  
ンセプションケア  
応援サイト

